



設定来の運用状況と今後の見通し

<当ファンドについて>

「グローバルESG株式インデックスファンド 愛称：ESGインサイト」（以下、当ファンド）は、「インベスコ・グローバルESGインサイト（除く日本、韓国）インデックス（円換算ベース）」（以下、インデックス）をベンチマークとします。

本インデックスは、当ファンドの設定にあたり独自に構築された指数です。指数の構築にあたり、ESGの観点からふさわしくない銘柄を除外の上、気候変動・ダイバーシティ・ガバナンスの3項目について評価が高い銘柄（ESG課題配慮型銘柄）と、環境課題解決ビジネスからの売上が10%以上を占める銘柄（環境課題解決型銘柄）を選定し、それぞれが8：2の比率になるようポートフォリオを調整します。

ポートフォリオの銘柄配分イメージ



足もとの市場環境と運用状況

インフレの進行を背景に大きく下落した株式市場。3月のFOMCが概ね市場予想通りであったことなどから株価は急反発し、当ファンドの基準価額は下落前水準まで回復

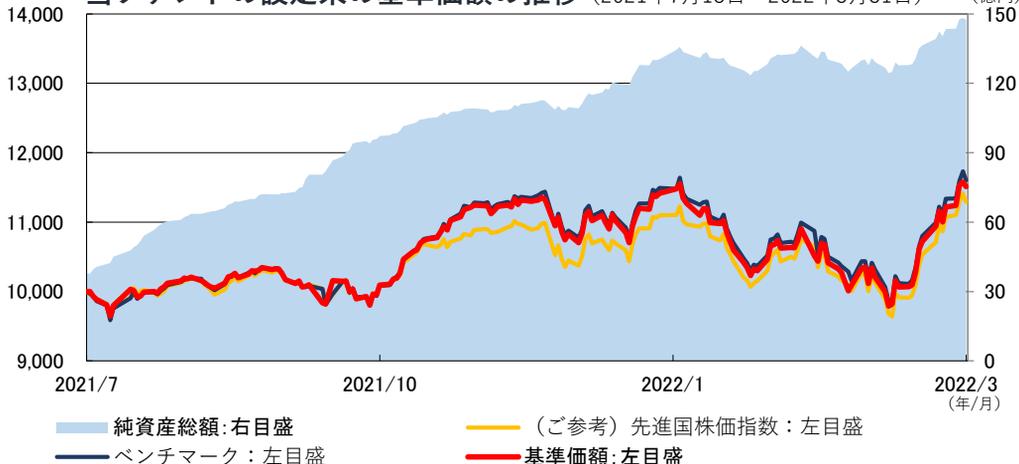
当ファンドは2021年7月13日に新規設定されました。設定来、新型コロナウイルスの感染収束に伴う経済活動再開への期待の高まりなどを背景とした世界の株式市場の上昇基調を受け、当ファンドの基準価額は比較的堅調に推移しました。

2022年に入り、米国のインフレが想定以上に進んだことで、FRB（米連邦準備制度理事会）の金融政策が引き締め方向に進む観測が広がり米長期金利が大きく上昇したことや、ロシアがウクライナに軍事侵攻したことなどから投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場は下落しました。

米長期金利が短期間で上昇したことで、バリュエーション面に与える影響が懸念され株式市場は下落、当ファンドの基準価額も下落基調が続き、一時10,000円を割り込む場面がありました。

その後、重要イベントである3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）が波乱なく通過したことに加え、原油高の一服、ロシア国債のデフォルト懸念の後退、中国政府が金融市場の安定化方針を打ち出したことなどによる安心感から、株式市場には買い戻しの動きが広がり、当ファンドの基準価額は概ね下落前の水準まで回復しました。

当ファンドの設定来の基準価額の推移（2021年7月13日～2022年3月31日）



2022年3月末時点基準価額

11,510 円

設定来騰落率

15.1 %

※基準価額、ベンチマーク(インベスコ・グローバルESGインデックス(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース))および(ご参考)先進国株価指数は、当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化したものです。ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して、前営業日の値を使用しています。(ご参考)先進国株価指数についても、ベンチマークに合わせ、前営業日の値を使用しています。
※各指数に関しては、当レポートの最終ページ<1ページ掲載の基準価額等の推移グラフについて>をご覧ください。

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド（愛称：ESGインサイト）」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



今後の見通し

ウクライナ情勢をめぐり当面は不安定な相場展開が続くが、実質金利はマイナス圏にあり底割れ懸念は低いとみられる。当ファンドの収益の源泉でもある世界的な脱炭素の流れに大きな変化はないとの考え

米国の金融引き締め加速懸念やウクライナ情勢を巡り、当面の間株式市場は不安定な相場展開が続くとみられます。エネルギー価格の上昇が企業業績にどの程度影響を及ぼすかには注視が必要ですが、業績見通しが大幅に下振れしなければ、今後のウクライナ情勢などの影響からリスクオフが加速し、株価が大幅に調整する局面となっても、バリュエーション面での割安感から買い戻しに動く可能性があります。

一方、物価上昇圧力は依然として高く、米国の利上げペースが加速する可能性は高まっているも、株式市場への織り込みは徐々に進んでいくと思われ

ます。また金融引き締めに転換したとはいえ、名目金利から期待インフレ率を差し引いた実質金利がマイナス圏に留まっていることは株式市場の下支え要因になると考えられ、加えてエネルギーや穀物価格の上昇により恩恵を受ける国や地域、セクターなども出てくると考えられます。

短期的な値動きによる影響はどうしても避けられない面はありますが、当ファンドの収益の源泉である環境課題に資する銘柄に関しては、世界的な脱炭素化の流れに大きな変化はないと考えており、引き続き中長期的な成長が期待できるとみています。

米国国債およびBEI*1・実質金利*2・S&P500の推移

期間：2000年1月末～2022年3月末、日次



*1BEI(ブレイク・イーブン・インフレ)：期待インフレ率
*2実質金利は米10年国債利回り－米BEI10年

(出所) ブルームバーグデータをもとにちばぎんアセットマネジメント作成

ESGをめぐる情勢

今後再生可能エネルギーなどへの転換が進み化石燃料からの脱却がより進展する可能性がある。また、人権問題など経営上の様々なりスクの軽減効果から「ESG経営」は引き続き重要視される見通し

ロシアのウクライナ侵攻により、ESGの観点から化石燃料を投資先から除外していた投資資金の逆流も予想されますが、世界の脱炭素への大きな流れは変わらないと考えます。

現在世界各国で、脱ロシアへの取り組みやロシア産資源を回避する動きが活発化していますが、**今後はエネルギー安全保障の面から、各国で調達先の選定を含めたエネルギー・ミックス議論の進展が予想されます。**その際、**再生可能エネルギーのような新エネルギーへの転換が重要なポイントになると考えられることから、脱炭素関連産業等の環境課題解決に資する企業への投資は、今後も続いていくと予想されます。**

また、企業経営において、E:環境、S:社会、G:ガバナンスの各課題に取り組む流れは継続するとみられます。ESGへの配慮を怠ることは、例えば自社製品への不買運動やリコール、規制強化や行政指導、消費者や従業員などからの訴訟など、業績や企業の評判への悪影響、株主価値の毀損につながるなど、企業経営の大きなリスクになると考えられます。

こうした点から、**企業がESGの各課題を考慮する経営を行うことで、経営上の様々なりスクが軽減され、長期的な企業利益の成長が期待できる**ことから、投資家にとっても企業利益の成長を源泉とするリターンを獲得が期待できると考えられます。

各方面の脱ロシアへの取り組み

EU	欧州委員会は2022年中にロシア産天然ガス輸入需要を3分の2減らす戦略を公表。新たな供給元の開拓やエネルギー効率の向上などの措置を組み合わせ、従来の見通しを前倒しし、2027年までにロシア産化石燃料への依存から脱することを目指す計画を発表。	英シエル	ロシア極東で開発中の石油ガス開発プロジェクト「サハリン2」からの撤退を表明。
ドイツ	国内ほぼすべての電力を再生可能エネルギーで賄う目標を15年前倒しし、2035年までに達成すると発表。	米エクソンモービル	米石油大手である同社が「サハリン1」から撤退するとの報道。
G7	G7(主要7カ国)は臨時でエネルギー担当大臣会合を開催。石油や天然ガスのロシア依存度を下げることで一致。	ノルドストリーム2AG	ドイツとロシアを直接結ぶガスパイプライン計画「ノルドストリーム2」の事業主体であり、ロシアの国営ガス会社ガスプロム傘下のノルドストリーム2AGが破産手続きの検討に入ったと報道。

(出所) 各種報道資料等よりちばぎんアセットマネジメント作成

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
- 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



お申込みメモ

- 購入単位・・・販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額・・・購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位・・・販売会社が個別に定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額・・・換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
- 換金代金・・・原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間・・・原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換金制限・・・ファンドの規模および商品性格などにに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金・・・申込日当日および申込日の翌営業日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日
- 購入・換金申込受付の中止および取消・・・金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取り消しを行うことがあります。
- 信託期間・・・無期限(2021年7月13日設定)
- 繰上償還・・・主要投資対象ファンドが償還される場合には、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。
次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が30億口を下回った場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日・・・毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配・・・年1回、毎決算時に分配の方針に基づき分配します。
収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 課税関係・・・課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**3.3% (税抜3.0%)**を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して、**年率0.8635% (税抜0.785%)**を乗じて得た額とします。

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して、年率0.4235%程度(税抜0.385%程度)

■ 実質的な負担

純資産総額に対して、**年率1.287%程度(税抜1.17%程度)**

※ この値は目安であり、投資対象とする投資信託証券の実際の組入状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等はその都度、監査費用は日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動する等の理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色

- 1. 主要投資対象ファンドへの投資を通じて、先進国(除く日本、韓国)の株式に投資します。
 - 2. 「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざします。
- ※ ファンドは、ベンチマークと連動する投資成果を目指して運用を行いますが、基準価額とベンチマークの動きは乖離する場合があります。
- ※ 主要投資対象ファンドの純資産総額が少額の場合、ESG関連銘柄に投資するETF(上場投資信託証券)に投資することがあります。ETFとは、S&P500種指数などといった特定の指数の動きに連動する運用成果をめざし、ニューヨーク証券取引所などの金融商品取引所に上場している投資信託です。
- ※ 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆様に戻属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券等の発行体等が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- ファンドはベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いますが、主として、ファンドとベンチマークの組入資産の銘柄、売買タイミング、時価評価および比率の差異並びに信託報酬、取引費用、為替、ETFとベンチマークの動きの不一致等の要因があるため、ファンドとベンチマークの騰落率は完全に一致するものではなく、乖離する場合があります。ベンチマークの算出・取得ができない事態が生じた場合、委託会社はベンチマークの変更や廃止を含む運用方針の見直しを行うことまたはファンドを償還することがあります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称：ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 ちばぎんアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 - 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第443号
 - 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 - ホームページ: <http://www.chibagin-am.co.jp/>
 - サポートダイヤル: 03-5638-1451 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理を行う者)

販売会社

商号等	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<1ページ掲載の基準価額等の推移グラフについて>

※当ファンドの主要投資対象ファンド(インベスコ グローバルESGインサイト・インデックス・ファンド(適格機関投資家限定))とベンチマーク(インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース))および「(ご参考)先進国株価指数」は為替の評価時点が異なります。
 ※「(ご参考)先進国株価指数」は、当ファンドのベンチマークである「インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)」の投資ユニバースである「インベスコ・グローバル(除く日本、韓国)インデックス」を使用しています。当インデックスは先進国(除く日本、韓国)の上場銘柄のうち、時価総額と流動性に富む大中型株を対象とするものです。ご参考のために掲載したものであり、当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。
 ※ESG要素の有無によるパフォーマンスの違いを比較することを目的に、ESG要素を考慮していない、市場全体の動きを反映した「(ご参考)先進国株価指数」を掲載しています。

■ 本資料で使用している指数について

インベスコ・グローバルESGインサイト(除く日本、韓国)インデックス(円換算ベース)(以下、「インデックス」といいます。)および「インベスコ・グローバル(除く日本、韓国)インデックス」(以下、「(ご参考)先進国株価指数」といいます。)は、インベスコ・インデクシング・LLC(以下、「許諾者」といいます。)の所有物であり、委託会社にその使用が許諾されています。
 当ファンドは、許諾者(その関係会社を含む。)によって、支援、推奨、販売または販売促進されていません。許諾者は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、インデックスおよび(ご参考)先進国株価指数の一般的な市場への追従能力について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。許諾者はインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数の決定、構築、計算に関し、被許諾者または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。許諾者は、当ファンドの発行や償還に関する決定や計算に責任を負わず、また関与をしません。許諾者は、当ファンドの管理、販売、取引に関して義務や責任を負いません。
 許諾者は、インデックスおよび(ご参考)先進国株価指数とそれに含まれるデータの正確性、完全性を保証しません。許諾者は、ここに許諾された権利に関連するインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数またはそれに含まれるデータの利用により、被許諾者、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、または、その他のいかなる使用に対しても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。許諾者は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行わず、かつインデックスおよび(ご参考)先進国株価指数またはそれに含まれるデータに関する、特定の目的のための市場商品性または適合性については、いかなる保証も明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、許諾者は、いかなる特別、懲罰的、間接的もしくは結果的損害(逸失利益を含む。)について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

<本資料のお取り扱いにおけるご留意点>

- 当資料はちばぎんアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルESG株式インデックスファンド(愛称: ESGインサイト)」へのご理解を深めていただくことを目的として、ちばぎんアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。
 ■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。